

令和5年度
7月号



大東小学校だより

さいたま市立大東小学校
浦和区大東3-14-1
048-886-7296



HPのQRコード

見える星、見えない星 ～一人ひとりの成長を大切に～

校長 多田 嘉典

明日から7月文月です。今年の梅雨明けは「平年並みか早く7月中旬になる見込み」という予想が出ています。まだまだすっきりしない天気の日が続きそうです。毎日蒸し暑い日が続いていますが、元気いっぱいの子もたちの声が、大人にも元気を与えてくれます。本当にありがとう。

さて、各教室では、7月7日の七夕を前に、五色の短冊に「願い」「夢」を書いています。今年度も、青少年育成大東地区会の皆様の全面的な御支援をいただき、7月3日に短冊が飾られる予定です。（本校HP「児童の様子（ブログ）」6月23日「短冊に願いを」をご覧ください）



正門を彩る七夕飾り（昨年度）

「バスケットで1億円プレイヤーになれますように」… 第二の「八村塁」になって日本を熱狂させてください。
「サッカーでハットトリックができますように」… 目指せ！「ワールドカップ得点王」。応援します。
「大きくなったら学校の先生になりたい」… 夢を実現させて、同じ学校で一緒に働けたらうれしいです。
「お父さん、お母さんが長生きしますように」… 家族愛であふれています。涙が出てきます。
「コロナがなくなってみんなが幸せになりますように」「世界が平和になりますように」
… どちらもみんなの願いですね。短冊に書いてくれて本当にありがとう。

大東っ子一人ひとりの願いや夢が、どうか天に届き実現されますように…。

*



以前、理科で星の学習をしていた4年生の男の子から聞かれたことがありました。

「先生、どうして星は夜にしか出ないの。」
大好きです。子どもたちの「なぜ。」「どうして。」という言葉。探究の始まりです。わくわくしながら、こう答えました。

「星は昼間も出ているみたいだよ。」
「えーっ、本当ですか。不思議。どうして。」
「先生も詳しいことは知らないから、調べてくれる。それで、先生に教えてよ。」

後日、その子はしっかり調べて来てくれて、
「青い空の奥深くに沈んでいる星は、夜になると辺りが暗くなるから見えるようになるんだよ。ぼく分かっちゃった。」

と嬉しそうな顔で話してくれました。子どもとの会話は、いろいろな仕掛けができる「宝物」です。

この男の子との会話を思い出して、ふと考えました。人の世にも星と同じことが言えるな。「いつも存在しているのに、夜は見えるけれど、昼間は見えない星。」「目立たないけれど頑張っている子ども。」「いつも元気そうに見えるけれど、実は伸び悩んでいる子ども。」など、心の目でじっと見ると「今まであったのに、見えていなかったことが、きっと見えてくるのではないか。」そう思えてきました。

見上げた夜空の満天の星。一方で、数えきれないほどの星がこの昼間の空にも在ることに気付かされます。目に見える子どもの輝きはもちろん、目には見えないけれど成長している子どもの輝きもしっかりと見つめ、大切にしながら、一日一日の教育活動を進めていきます。

*

一学期終業式まで残すところ14日となりました。丁寧に学習と生活のまとめを行い、自信をもって気持ちよく夏休みを迎えられるよう、子どもたちと共に締めくくりを進めてまいります。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様の御理解と御協力をどうぞよろしくお願いいたします。